

えいようか通信

世界のお弁当

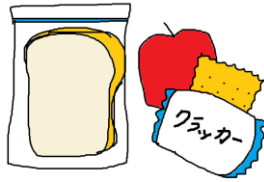


夏の猛暑もすっかり和らいで、秋の気配が近づいてきましたね。秋といえば行楽シーズン、お弁当をもって景勝地へピクニックに行く方もみえるのではないのでしょうか？お弁当とは家で食事ができないときに携帯する食事のことを指し、日本では古くからある文化ですが海外ではどうなのでしょうか？調べてみました。

アメリカ



お弁当箱はタッパーかジップロックで、そこにチーズかハムを挟んだだけのサンドイッチがポピュラーな定番。ピーナツバターやイチゴジャムといった甘いサンドイッチも定番のようで、日本のように野菜やハムなど具を何種類も挟む習慣は無いようです。サイドメニューもクワッカードーナツやリンゴの丸ごと1個がバナナ一本を添えて完成という、とても手間いらずでシンプルなもの。欧米では「パン」の皮をむく習慣が無いのでそのまま丸かじりすればOK。野菜が足りないと思えば生のニンジンかセロリを食品袋か容器に入れてお弁当に入れて持ち帰る人も多いようです。「料理」と言いつりも「素材」を袋で持って帰るタイプなミックなスタイルです。



中国



日本と同じ米食の国ですが、冷めたご飯を食べる文化が無いので、お弁当の習慣はあまりないようです。その理由は「冷めたご飯はお腹を壊す、体に悪い」といふ考え

発行者：栄養課

場所
本館2階西

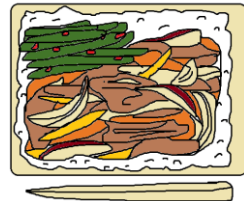
秋号



四季発行
(年4回)

えが古くからあることで多くの家庭で朝・昼・夕を問わず温かいできたてのものを食べるのが一般的です。そのため台湾や中国では外食が盛んで、街並みには多くの飲食店や屋台が軒を連ね、朝から粥や飲茶をのんびりと賑わっています。

ほかほか

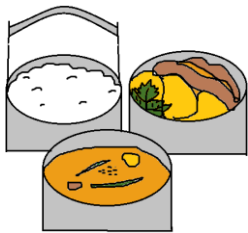


インド



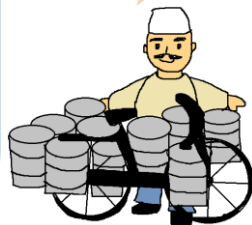
インドといえばカレーの国。基本的に「お弁当のおかずもカレーやナンで、「タッパー」という円筒型で3段式のステンレスのお弁当箱に入れます。日本と大きく違うのは、お弁当は自宅から持って行くのではなく、「タッパー」や「お弁当配達専用車」に乗った配達員が、ランチャイムに合わせて届けてもらうのが主流というスタイルです。

このお弁当システムが面白いのは、スタッフが各家庭からできあがったお弁当をピックアップし、次々と中継するスタッフへ何度か引き渡し、最終的に時間ピッタリで本人にお届けするという仕組み。5〜6人を經由するにもかわららず、その間、電話や紙の伝票、もちろんスマートフォン、パソコンも使わずに、ほとんど配達先の間違い



や時間遅れも無く届けるので本当に驚きです！アナログな方法でありながら、非常に正確な配達システムであり、100年以上も前から続いています。彼らの驚異的な働きが、インドのお弁当文化を支えているんですね。

文字を読める人が少ないため、伝言や簡単な記号・色分けだけで識別して配達しているんだ。



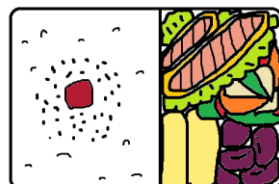
インドでは宗教の違いなどから人により食べられるものが異なるため出先でもお弁当が主流で、イギリス統治時代にタッパーは誕生しました。都市ムンバイには約300人のタッパーがいて、毎日約20万食のお弁当が運ばれているといわれています。彼らは大量のお弁当箱を手押し車や自転車と運び、食べ終わった後のお弁当箱も回収して自宅に届けます。その驚異的な正確さは世界的にも非常に注目されており、海外から大手物流企業や大学が研究に訪れるほどです。

フランス



フランス人は食への関心が高い民族です。お昼ご飯も大切にしており、古くはお昼休みが2時間もあり、同僚たちと雑談をしながらカフェでランチするのが主流でした。「飯はただ食べるものではなく、他の人とおしゃべりしながらリラックスするのが目的」と考え、田舎の場合は家に帰って食事をする習慣があり、ゆっくりと食事を楽しんでいました。

しかし、「最近では企業のグローバル化の影響や経済の不景気などを受けてお昼休みの時間は短くなり、会社にサンドイッチやサラダを持参して働く人が多くなりました。そこでいち早く注目され、取り入れられたのが日本のお弁当でした。見た目にも美しく季節感があり、ヘルシーで栄養バランスも優れている日本のお弁当はフランスで人気があり、自分で作って持参する人が増え



Japanese BENTO!

編集者の声

お弁当はおいしいですよね。小さな箱の中に、色とりどりで、味も多様なおかずがキュッと詰めてあるとおいしそうでワクワクします。映画「となりのトトロ」のメイもサツキにお弁当を作ってもらって喜んでいてシーンが印象的でした。日本のお弁当文化がフランスで注目されたのも、日本のアニメでお弁当を食べるシーンがよく使われていたからだと思う。「あの子は食事は何？」とフームに火が付いたよう

(松浦)